

# 芳野議員提出資料

# ◆ 連合の考えと取り組みについて

## 連合の考え

- 今年度から第2ステージとなるが、単に数値目標の達成をめざすだけでなく、**就職氷河期世代の希望を踏まえた安定した就労や生活の実現が重要**。
- そのためには、**当該対象者の属性や置かれた状況等を適切に把握し、就労や社会参画に向けた適切な支援を行うことが必要**。
- また、就労支援に加え**職場定着を図るためには、長時間労働の是正やハラスメントの根絶など、安心して働き続けられる労働環境の整備が欠かせない**。
- 国は、これまでの**施策の効果検証**を行いつつ、**各府省庁が横断的に連携し、実効的な支援に取り組むとともに、好事例の水平展開**などによる取り組みの底上げが求められる。

## 連合の取り組み

- 連合・地方連合会などによる「**なんでも労働相談ホットライン**」の実施(次頁:当事者の声引用)
- 地域における「**良質で安定的な雇用の創出・確保**」に関する取り組み協力(厚生労働省:**地域活性化雇用創造プロジェクトへの参画**)
- 連合「**重点政策**」に盛り込み、政党や省庁等、各種要請行動の実施



The screenshot shows the Union website's page for job support for the Ice River Generation. The page features a navigation bar with the Union logo and search bar. The main content area is titled "労働・賃金・雇用" (Labor, Wages, and Employment) and includes a section titled "就職氷河期世代とは" (What is the Ice River Generation?). This section explains that the Ice River Generation refers to those who graduated from school in the late 1990s and early 2000s, facing a difficult job market. It also includes a graphic with two people, one labeled "就職" (Job) and the other "不採用" (Not hired). The page lists various support measures such as "春闘 (春季生活闘争)", "最低賃金", "労働時間", "不払い残業", "過労死 (過労死等ゼロに向けた取り組み)", and "労働保険・社会保険の加入".

連合HP:就職氷河期世代支援に関する取り組みページ

## ◆ 連合：「なんでも労働相談」に寄せられる当事者の声



(対象期間：2021～2022年)

- 就職氷河期世代で就職がうまくいかず、非正規を転々としてきた。職業訓練校に通い正社員で採用されたが、職場で**パワハラを受け、通院し適応障害と診断された。ハローワークに相談したが、次の仕事は見つからず、体調が悪化しながら勤務を続けている。**(本人／40代)
- **正社員で雇用されたが一週間で解雇された。**就職氷河期世代を正社員で雇用すると会社に助成金が入るが、不正受給をしているのではないか。(本人／不明)
- 就職氷河期世代で、就活に苦労している、仕事が見つからない。(本人／不明)
- 14年間無職状態。就職活動中だがなかなか採用されない(本人／40代)
- **子どもが就職氷河期世代で仕事が見つからず、今後が心配。**(親／不明)
- 就職氷河期世代の知人が就職したが、**長時間の時間外労働など劣悪な労働条件**であったため退職を申し出たが、辞めることが出来ないとされた。(知人／40代)